

平成20年度病害虫発生予報第7号(10月予報)

＜お知らせ＞ トマト黄化葉巻病に関するお知らせがあります(本号裏表紙参照)。

今月のトピックス

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>

オキナワカンシャクシコメツキ (サトウキビ)

学名: *Melanotus okinawensis*

写真提供: 沖縄県農業研究センター



成虫



生態と被害

欠株被害



幼虫(ハリガネムシ)

成虫の体長は16mm、全体に茶褐色で黄色の軟毛を密生する。老齢幼虫は赤褐色で体長30～35mm程度である。1年半～2年半の幼虫期を経て土中で成虫となり、そのまま越冬する。成虫は3～6月に地上部に出現し、日没後3時間以内に交尾し、地中や葉鞘内へ産卵する。幼虫が地下部を食害し、欠株や芯枯を引き起こすが、成虫の作物への加害はない。多発地では苗芽の70%以上が被害を受けることもある。サトウキビのほかススキなどのイネ科植物を好んで食害する。

☆ 予報の見方 ☆

- 1) 発生予察情報は、前月の調査に基づき発生程度が「並」以上の病害虫を中心に掲載しています。「やや少」以下の病害虫については通常掲載していません。
- 2) 「発生程度」は平年との比較を示しています。そのため、毎年その月で高い数値が続いた場合には、その月の「発生程度」は密度が高くて「並」として発表されます。前月との多少の比較はグラフを参考にしてください。